

山口県医師会報

令和3年(2021年)

8月号

— No.1932 —

夏季特集号



緑陰隨筆

● 表紙の写真に寄せて

柳井 河内山 政彦

表紙



行かれた方も多いと思いますが、「黒部ダム・黒部川第4発電所」、通称「くろよんダム」です。関西電力により昭和31年に着工され、38年に竣工の日を迎えました。7年の歳月と、延べ1,000万人の人手、171名の尊い犠牲により完成しました。

標高1,470mにあり、ダムの高さ186mは日本一を誇り、長さは492mのなだらかな美しいアーチを描きます。今回の写真にある「観光放水」は毎秒10トン以上の水量で、6月下旬から10月中旬まで見られます。間近で見ると、やはり圧倒されます。

裏表紙



写真の「立山ロープウェイ」は、立山黒部アルペンルートにある6つの交通手段のうちの一つです。標高2,316mの大観峰と1,828mの黒部平を結び、標高差は500mで全長1,710mです。途中には、景観と環境保線の観点から、支柱は一本もなく、動く展望台として360度の大パノラマを楽しむことができます。小生は下りに乗ったのですが、高所恐怖症のため前の席には行けず後ろにへばり付き、ゴンドラがすれ違う時の写真を撮るのに必死でした。